

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	2019年10月15日
【四半期会計期間】	第38期第1四半期(自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
【会社名】	株式会社ウッドフレンズ
【英訳名】	WOOD FRIENDS CO.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 前田和彦
【本店の所在の場所】	名古屋市中区栄四丁目5番3号
【電話番号】	052(249)3503
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 笹原利明
【最寄りの連絡場所】	名古屋市中区栄四丁目5番3号
【電話番号】	052(249)3504
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 笹原利明
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第37期 第1四半期連結 累計期間	第38期 第1四半期連結 累計期間	第37期
会計期間	自2018年 6月1日 至2018年 8月31日	自2019年 6月1日 至2019年 8月31日	自2018年 6月1日 至2019年 5月31日
売上高 (千円)	7,189,945	9,483,829	35,511,659
経常利益 (千円)	83,115	138,041	807,319
親会社株主に帰属する四半 期(当期)純利益 (千円)	31,315	67,003	534,904
四半期包括利益又は 包括利益 (千円)	46,676	84,496	579,822
純資産額 (千円)	5,825,730	6,308,833	6,362,868
総資産額 (千円)	23,940,495	27,902,182	27,923,780
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	21.47	45.95	366.82
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	22.9	21.2	21.5

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含んでおりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、13ページ「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2019年8月31日)の概況は、以下のとおりであります。

当地域の不動産業界

- ・名古屋圏の都市部を中心として商業地・住宅地ともに地価上昇が続いております。名古屋駅周辺の開発に加え、近隣の伏見駅、栄駅周辺の開発が進み、更なる経済活性化に期待が高まっております。
- ・愛知県の新設住宅着工戸数は、前年から引き続き増加基調が続いております。分譲戸建住宅市場におきましては、住宅ローンの低金利等に支えられた住宅取得環境の下、需要増への期待から着工数が堅調に推移しております。短期的には、このような状況が続くと予想するとともに、市場での激しい競争が継続すると考えております。

当社の取り組み

- ・商品住宅として工業化と規格化を推進し、事業工期の短縮、品質の安定化を行うとともに、情報処理技術を用いた顧客データベースと、ヒューマンタッチな営業を融合させることによる販売差別化を推進しました。
- ・岐阜工場で生産する製品の物流拠点及び建築部品の工業化を推進するための拠点として、新たに取得した工場建屋の改修が完了しました。建築資材の更なる内製化を行い、商品の独自性を高めるとともに、生産性の向上、コスト改善に取り組んでまいります。
- ・余暇事業において、お客様の利便性向上を目的として、「ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部」のネット予約システム構築、ゴルフ場内のショップ改修工事を行いました。
- ・住宅建築で培った木造建築技術を応用した「HOTEL WOOD 高山」が完成、グランドオープンし、運営を開始しました。

当第1四半期連結累計期間の業績

<連結業績>

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第1四半期実績	9,483百万円	213百万円	138百万円	67百万円
前年同期比	31.9%増	49.7%増	66.1%増	114.0%増

<セグメントの実績>

a 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売及び住宅建設資材の製造・販売。

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第1四半期実績	8,684百万円	290百万円	販売戸数が増加し、売上高及び利益が増加。
前年同期比	32.8%増	96.7%増	

b 余暇事業

ゴルフ場及びホテル並びに公共施設の運営管理及び施設管理

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第1四半期実績	591百万円	82百万円	「HOTEL WOOD 高山」運営開始に伴い売上高が増加したが、初期投資費用が発生し減益。
前年同期比	4.3%増	38.9%減	

c 都市事業

収益型不動産の開発並びに施設等の維持管理等

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第1四半期実績	95百万円	7百万円	業績は概ね計画通り進捗。
前年同期比	28.6%増	13.6%増	

d その他の事業

上記以外の外部顧客への販売・サービスの提供

	売上高	セグメント損失	前年同期比の主因
当第1四半期実績	128百万円	1百万円	宅地販売が増加し、売上高が増加。
前年同期比	215.1%増	-	

(2) 財政状態の分析

資産

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金の減少を主な要因として、前連結会計年度末と比較して21百万円減少し、27,902百万円となりました。

負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、リース債務の増加を主な要因として、前連結会計年度末と比較して32百万円増加し、21,593百万円となりました。

純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、配当金の支払により利益剰余金が減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して54百万円減少し、6,308百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,800,000
計	4,800,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年8月31日)	提出日現在発行数(株) (2019年10月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	1,480,000	1,480,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) 名古屋証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	1,480,000	1,480,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年6月1日～ 2019年8月31日	-	1,480,000	-	279,125	-	269,495

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年5月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 21,700	-	単元株式数は100株であります。
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,457,700	14,577	単元株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 600	-	-
発行済株式総数	1,480,000	-	-
総株主の議決権	-	14,577	-

【自己株式等】

2019年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総 数に対する所有 株式の割合 (%)
株式会社ウッドフレンズ	名古屋市中区栄四丁目5番3号	21,700	-	21,700	1.47
計	-	21,700	-	21,700	1.47

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づき、同規則及び「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)により作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年6月1日から2019年8月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年6月1日から2019年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,920,684	3,400,513
完成工事未収入金	234,150	104,514
売掛金	246,769	254,015
販売用不動産	8,319,908	8,816,088
仕掛販売用不動産	7,938,793	7,283,864
商品及び製品	385,390	258,136
未成工事支出金	1,962,903	2,050,392
仕掛品	134,959	138,450
原材料	245,118	249,971
その他	506,524	595,348
流動資産合計	23,895,203	23,151,295
固定資産		
有形固定資産	3,424,232	4,031,492
無形固定資産	90,450	118,149
投資その他の資産	513,894	601,245
固定資産合計	4,028,576	4,750,887
資産合計	27,923,780	27,902,182
負債の部		
流動負債		
工事未払金	2,083,837	1,703,602
買掛金	448,788	403,923
1年内償還予定の社債	244,000	244,000
短期借入金	10,664,223	11,059,484
1年内返済予定の長期借入金	2,472,298	2,074,375
未払法人税等	69,768	60,124
賞与引当金	132,728	66,149
役員賞与引当金	13,242	-
完成工事補償引当金	129,717	128,734
その他	720,800	967,815
流動負債合計	16,979,406	16,708,209
固定負債		
社債	468,000	408,000
長期借入金	3,233,658	3,295,356
退職給付に係る負債	2,551	2,701
役員退職慰労引当金	154,348	156,340
資産除去債務	13,226	30,414
その他	709,720	992,326
固定負債合計	4,581,504	4,885,139
負債合計	21,560,911	21,593,349

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	284,956	284,956
利益剰余金	5,472,823	5,401,296
自己株式	41,762	41,762
株主資本合計	5,995,143	5,923,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	315	465
その他の包括利益累計額合計	315	465
非支配株主持分	368,040	385,682
純資産合計	6,362,868	6,308,833
負債純資産合計	27,923,780	27,902,182

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
売上高	7,189,945	9,483,829
売上原価	6,226,403	8,373,009
売上総利益	963,541	1,110,819
販売費及び一般管理費	820,701	896,952
営業利益	142,840	213,866
営業外収益		
受取利息	9	389
受取手数料	5,938	5,730
補助金収入	6,253	6,648
その他	6,070	6,663
営業外収益合計	18,272	19,431
営業外費用		
支払利息	63,248	81,885
その他	14,748	13,370
営業外費用合計	77,997	95,256
経常利益	83,115	138,041
特別利益		
事業譲渡益	5,083	-
特別利益合計	5,083	-
特別損失		
固定資産除却損	2,132	-
特別損失合計	2,132	-
税金等調整前四半期純利益	86,066	138,041
法人税等	39,390	53,394
四半期純利益	46,675	84,646
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,360	17,642
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,315	67,003

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益	46,675	84,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	149
その他の包括利益合計	1	149
四半期包括利益	46,676	84,496
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,316	66,853
非支配株主に係る四半期包括利益	15,360	17,642

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
販売顧客の金融機関からの借入金	296,611千円	357,566千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年8月31日)
減価償却費	110,533千円	120,021千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自2018年6月1日至2018年8月31日)

1 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年8月28日 定時株主総会	普通株式	174,986	120	2018年 5月31日	2018年 8月29日	利益剰余金

2 株主資本金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2019年8月31日)

1 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年8月27日 定時株主総会	普通株式	138,531	95	2019年 5月31日	2019年 8月28日	利益剰余金

2 株主資本金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	住宅事業	余暇事業	都市事業	その他の 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	6,539,739	566,198	65,769	18,238	7,189,945	-	7,189,945
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	543	8,832	22,451	31,827	31,827	-
計	6,539,739	566,741	74,601	40,690	7,221,772	31,827	7,189,945
セグメント利益	147,467	134,281	6,282	4,525	292,556	149,716	142,840

- (注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、宅地販売、その他賃貸収入等が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額 149,716千円には、セグメント間取引消去2,579千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 152,296千円が含まれています。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	住宅事業	余暇事業	都市事業	その他の 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	8,684,997	590,814	80,175	127,841	9,483,829	-	9,483,829
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	440	15,759	377	16,577	16,577	-
計	8,684,997	591,255	95,934	128,218	9,500,406	16,577	9,483,829
セグメント利益又は損失 ()	290,111	82,078	7,137	1,247	378,079	164,212	213,866

- (注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、宅地販売、その他賃貸収入等が含まれております。
- 2 セグメント利益又は損失()の調整額 164,212千円には、セグメント間取引消去6,386千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 170,599千円が含まれています。
- 3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを従来の「住宅事業」「AM事業」「都市事業」「その他の事業」から「住宅事業」「余暇事業」「都市事業」「その他の事業」に変更しております。この変更は、「HOTEL WOOD 高山」運営開始により、経営管理上、事業業績区分の見直しを行ったことに伴い「AM事業」を「余暇事業」に名称を変更し、「その他の事業」に含まれていたホテル運営事業を「余暇事業」へ変更したものです。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の方法で作成したものを開示しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	21円47銭	45円95銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	31,315	67,003
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益金額(千円)	31,315	67,003
普通株式の期中平均株式数(株)	1,458,222	1,458,222

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年10月11日

株式会社ウッドフレンズ

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岩 田 国 良

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山 田 昌 紀

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ウッドフレンズの2019年6月1日から2020年5月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年6月1日から2019年8月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年6月1日から2019年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ウッドフレンズ及び連結子会社の2019年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。